

ICOM

導入ガイド

IP ADVANCED RADIO SYSTEM

IP500M

1. 付属品について

- | | | |
|--|---|---|
| ☐ 防水スピーカーマイクロホン(HM-204)* ¹ | ☐ マイクハンガー(取り付けネジ式を含む) … 1 | ☐ DC電源ケーブル(約3m) …… 1 |
| ☐ 予備ヒューズ(125V/5A) ……………2 | ☐ 車載ブラケット(取り付けネジ式* ² を含む) 1 | ☐ ご注意と保守について |
| ☐ LTEアンテナ(同軸ケーブル: 3m) ……………2 | ☐ 圧着端子(バッテリー接続用: R2-6) …………… 2 | ☐ 導入ガイド(本書) |
| ☐ スポンジ* ³ …………… 1 | ☐ シート* ³ …………… 1 | ☐ 保証書 |

★¹ お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

★² 別売品のPS-230Aに本製品を固定するときにも使用します。

★³ 車載ブラケットを利用して本製品を車内に固定するとき、必要に応じて使用します。

本製品の別売品や各機能の詳細について

別売品や各機能などについては、弊社ホームページに掲載のIP500M取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

※ 本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。

設定について詳しくは、お買い上げの販売店におたずねください。

※本製品の取り付け方法について詳しくは、弊社ホームページに掲載のIP500M取付ガイド(PDFファイル)をご覧ください。

なお、取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店へ取り付けを依頼されることをおすすめします。

※ 各説明書(PDFファイル)をご覧くださいには、Adobe® Acrobat® Reader®が必要です。

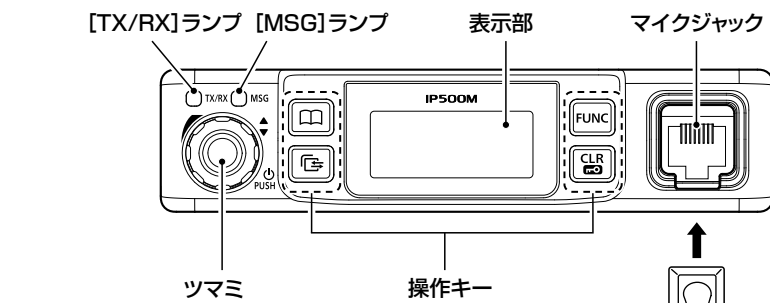
お持ちでない場合は、Adobeホームページからソフトウェアをダウンロードしてください。

※弊社ホームページ(下記)にアクセスして、[フリーワード検索]欄に「IP500M」を入力すると、各説明書(PDFファイル)を検索できます。

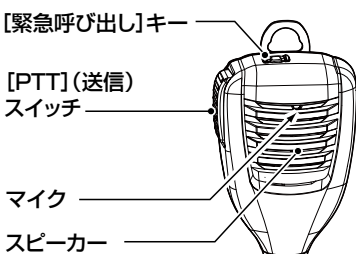
アイコム株式会社 取扱説明書 ダウンロード <http://www.icom.co.jp/support/download/manual/>

2. 各部の名称

無線機本体(前面部)



HM-204



ツマミの操作について

長押し	—	電源ON/OFF
回す	待受画面	音量調整
	各種画面	アドレス帳や履歴画面内などのカーソル移動

ランプの状態と動作について

TX/RX	赤点灯	送信中
	緑点灯	受信
	橙点灯	送受信
MSG	緑点灯	USBロード時
	橙点滅	DFS動作による無線動作待機中

※ [MSG]ランプが橙色で点灯中は、ファームウェアの重要部分を更新しています。

消灯するまで電源を切らずにしばらくお待ちください。(約10秒)

消灯後、本製品は自動で再起動します。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書は、auの4G LTE(800MHz)網を経由した音声通信をご利用いただくためのガイドです。

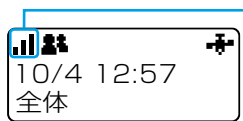
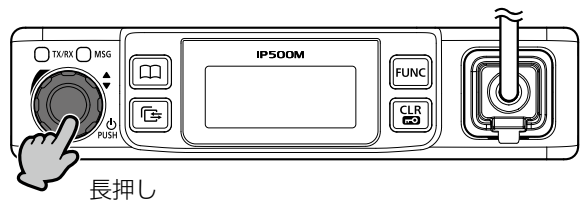
本書をお読みいただく前に、別紙の「ご注意と保守について」をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

3. 電源を入れる／音量を調整する

電源を入れる

本製品を取り付けた車のエンジンをかける、またはツマミを長く(約1秒)押しします。(裏面の「ACC端子接続確認について」を参照)

※待受画面が表示されるまで約70秒かかりますのでお待ちください。

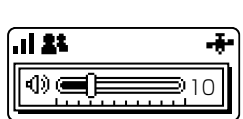
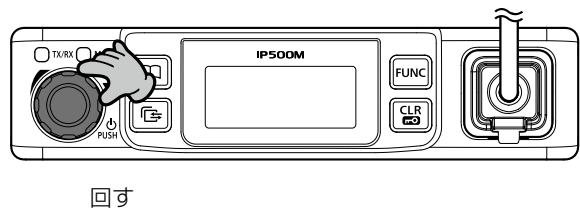


電波の強度を3段階(目安)で表示します。
※サービスエリア外、または電波の届かない場所の場合は、 (圏外)を点滅表示します。

待受画面

音量を調整する

ツマミを回すと、音量が調整できます。



待受画面

相手の音声聞きやすい音量レベルに調整してください。
調整できる範囲は、「0～32」です。
※音量が最小のときは、操作音(ピープ音)や受信した音声聞こえません。

4. 無線機本体の操作キーについて

★ お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

操作キーについて詳しくは、弊社ホームページに掲載のIP500M取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

[アドレス帳]キー*

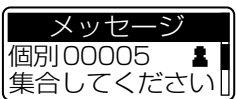
アドレス帳を利用して、送信するときに操作します。
キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ*)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。



アドレス帳：個別

[FUNC]キー*

送信するメッセージやプレゼンス、所属するトークグループ*を選択するときに操作します。



メッセージ選択画面

[履歴]キー*

短押し
キーを押すごとに、履歴*が切り替わります。
※表示される履歴は、送信、受信、メッセージ送信*、メッセージ受信、電話発信*、電話着信*です。

長押し

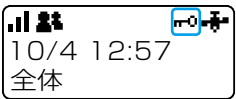
迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出し*するときに操作します。「緊急」と表示されるまで、キーを長く押しします。

[CLR/LOCK]キー

短押し
メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。

長押し

ロック機能をON/OFFします。
※[PTT] (送信)スイッチとツマミは、ロック中でも使用できます。



キーロック時の待受画面

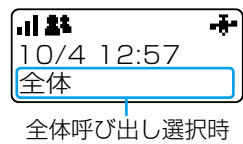
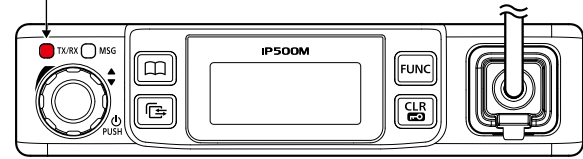
※本書中の説明や画面は、設定によって、お使いになるものと多少異なる場合があります。

※本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

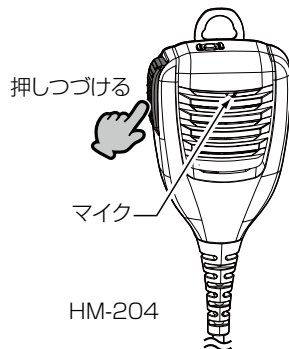
5. 交信のしかた

- 1 マイクロホンの[PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。
- [PTT](送信)スイッチを押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色で点灯します。

[TX/RX]ランプが
赤色で点灯



全体呼び出し選択時

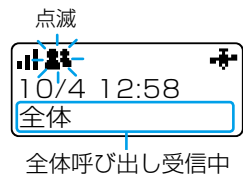
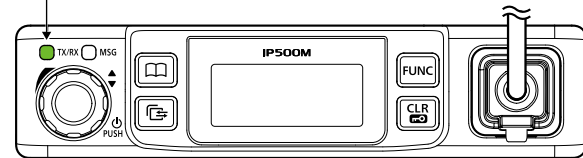


HM-204

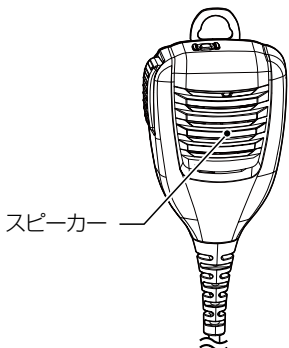
- 2 相手局が送信すると、受信した音声が届きます。

- 受信中は、[TX/RX]ランプが緑色で点灯します。
- ※アイコン点滅時は、新規受信(着信)を示します。(下図参照)
- ※待ち受け状態のときは、[TX/RX]ランプが消灯しています。

[TX/RX]ランプが
緑色で点灯



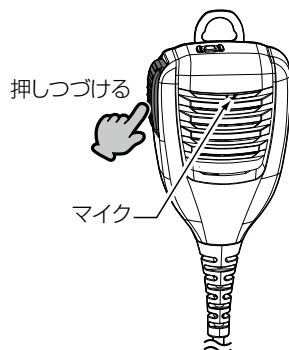
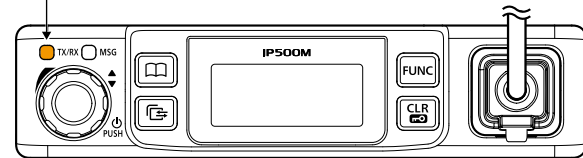
全体呼び出し受信中



スピーカー

- 3 相手が送信しているときでも、[PTT](送信)スイッチを押しながら、電話のように同時通話できます。
- 送受信状態(複信通信時)のときは、[TX/RX]ランプが橙色で点灯します。

[TX/RX]ランプが
橙色で点灯



押しつづける

マイク

交互通話(単信通話)の場合

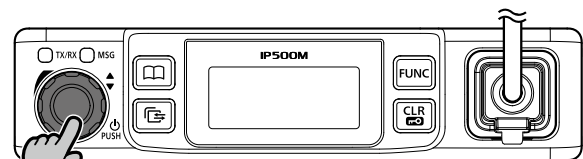
お買い上げの販売店で単信通信が設定されている場合は、送信と受信を交互に切り替えて通話します。

※相手の通話が終了してから、送信してください。

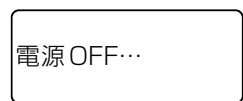
※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

電源を切るときは

本製品を取り付けた車のエンジンを切る、またはツマミを長く(約1秒)押します。



長押し



※「電源OFF…」の表示が消えるまでお待ちください。



※卓上電源装置(別売品：PS-230A)をご使用になる場合、電源を切るときは、本製品の電源が切れたことを確認してから、卓上電源装置の電源を切ってください。

本製品の電源が入った状態で卓上電源装置の電源を切ると、通信回線や基地局の障害、本製品の故障などの原因になります。

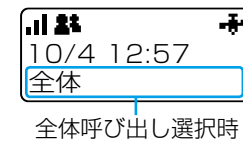
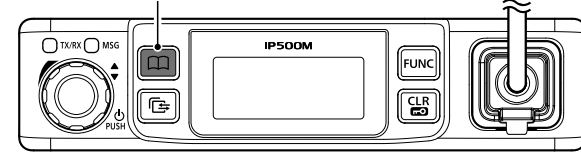
6. 呼出種別(呼出先)について

「アドレス帳からの呼出」が有効に設定されている場合は、本製品の[アドレス帳]キーを押して、呼出種別(呼出先)を切り替えられます。

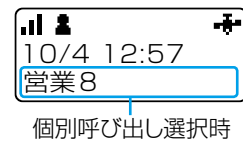
※ツマミを回すと、アドレス帳から相手先(例：営業8)を選択できます。

※無効になっている場合は、[PTT](送信)スイッチを押すと、待受画面(下部)に表示された特定の呼出種別(呼出先)を呼び出します。

[アドレス帳]キー



全体呼び出し選択時



個別呼び出し選択時

呼び出しモード表示

呼び出しやメッセージを受信したとき、電話から着信したときは、アイコンが点滅します。

★お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。



： 全体/グループ呼び出し



： トークグループ呼び出し*



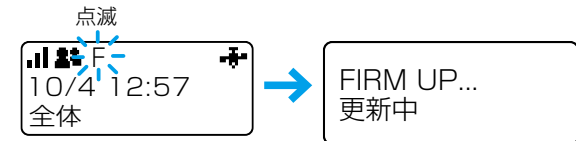
： 個別呼び出し



： 電話*

7. ご参考に

本製品の表示部で「F」表示が点滅しているときは、新しいファームウェアをダウンロード中です。



◎ ダウンロードは約10分かかります。

そのまま電源を切らず、電波状況のよい環境でお待ちください。

◎ 更新中の画面が表示されたら、自動的に再起動するまで、電源を切らずにそのままお待ちください。(約1分)

◎ 「F」表示の点灯がつづく場合は、ご都合のよいときに、電源を入れなおして再起動してください。

ACC端子接続確認について

◎ 初期値では、本製品のSETモードで[ACC端子接続確認]が「有効」に設定されています。

ACCが接続されていない状態で本製品の電源を入ると、「ACC端子未接続」が表示され、警告音(ビッ、ピッ…)が鳴り、約1分経過すると電源が切れます。

※警告中にACC連動ケーブルを接続した場合は、「ACC端子接続 再起動します」が表示され、自動的に再起動します。

※設定情報更新のため、ACC接続警告中に再起動することがあります。

この場合、再度警告画面になるまでしばらくお待ちください。

◎ 本製品は動作中、常時auの4G LTE(800MHz)網に接続されているため、電源を切るためにはシャットダウン処理が必要です。

※シャットダウン処理をせずに本製品の電源を切る*と、通信回線や基地局の障害、本製品の故障などの原因になります。

★本製品の電源が入っている状態で、付属のDC電源ケーブルがはずれる、または卓上電源装置の電源を切ることを指します。

◎ 自動車でご使用になる場合、鍵(エンジンスイッチ)の操作でシャットダウン処理するために、鍵の操作と連動する電源に本製品のACC連動ケーブルを接続してください。

ACC連動が正しく動作すると、鍵の操作と連動してシャットダウン処理されます。

◎ 卓上電源装置(別売品：PS-230A)をご使用になる場合、本製品のSETモードで[ACC端子接続確認]を「無効」に変更してください。

※電源を切るときは、必ず本製品のツマミを長く(約1秒)押して、「電源OFF…」の表示が消えたことを確認してから、卓上電源装置の電源を切ってください。

◎ ACC端子未接続の場合、停電など不用意に電源が遮断されたとき、復旧後、本製品は自動的に起動しません。

電源復旧を確認してから、ツマミを長く(約1秒)押して、本製品の電源を入れてください。

◎ 本製品の取り付け方法やSETモードでの変更については、弊社ホームページに掲載のIP500M取付ガイド(PDFファイル)をご覧ください。

※お買い上げ時の設定により、本書に記載している初期値と異なる場合があります。

初期値については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。

Adobe、Acrobat、Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。

A-7298W-2J-③ Printed in Japan © 2016-2017 Icom Inc.